

1 スペアミントの特徴

シソ科の多年草。和名はミドリハッカ（*Mentha spicata* L.）、オランダハッカ（*Mentha spicata* L. 'Crispa'）。主な香気成分として「カルボン」が含まれており、甘さのある柔らかな香りが特徴。飲料水やガム、アイスクリーム、リキュールなどの香りづけに広く利用されている。ヨーロッパでは、ミントといえばスペアミントを指す。生育旺盛であり、栽培は比較的容易だが、交雑しやすい。



図1 スペアミント

2 栽培暦

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
作業	定植						収穫・追肥																						切り戻し			地下茎ポット植付 堆肥・基肥散布					

- ・堆肥 2t/10a、苦土石灰300kg/10a（土壌分析結果により判断）
- ・基肥 N,P₂O₅,K₂O 各10kg/10a
- ・追肥 収穫後に、液肥で行う
- ・育苗 5cmにカットした地下茎を、6cmポットに植付ける
- ・定植 育苗した苗を定植する（図2）
- ・栽植密度 畝幅150cm、株間30cm、条間30cm
二条千鳥植え（10aあたり 4,444本）
- ・マルチ マルチ利用（シルバーが好ましい）
- ・病虫害 アブラムシ、ハダニ等がみられるが、発生頻度は少なく、収量に大なる影響はない
夏場のさび病に注意が必要
- ・収穫方法 収穫機を使用（可搬型茶収穫機の改良型または市販の収穫機）
可搬型茶摘採機の改良型 → 既存の機械に24インチの自転車車輪（チーブを外したもの）を4輪取付け、走行できるようにしたもの
刈取り時に収穫物を袋に集めるため、刈取り後の収集も容易である
ハサミによる収穫と比較して実作業時間を50%以上削減できる（図3、図4、図5）
- ・機械収穫の注意点 機械の操作および収穫用袋を支えるために、最低3名が必要であり、延収穫時間はハサミ刈りと差がない
- ・目標収量 10aあたり 1,500 kg以上（生重）
- ・収穫回数 年3回から4回程度
- ・切り戻し ミントは長く育てると株が木化して姿が乱れ、機械収穫に向かなくなる
冬には短く切戻しを行う



図2 定植時の苗



図3 改良型収穫機



図4 機械収穫の様子

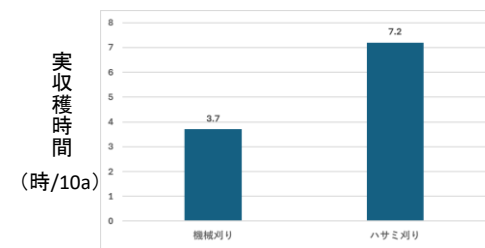


図5 10aあたり実収穫時間（2025.7.30調査）

3 留意点

本マニュアルは、宮崎県小林市野尻町で試験栽培したスペアミントの調査データを参考に作成したものである